

水道だより

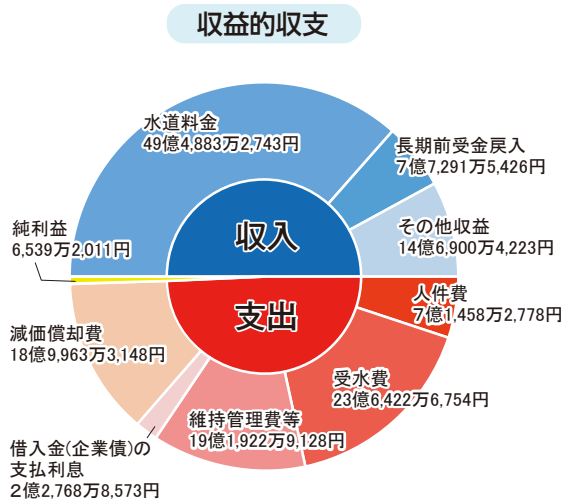
私たちの暮らしの中の水道 vol.18

令和4年12月1日発行
上下水道管理課

☎237-5811 FAX 237-5819

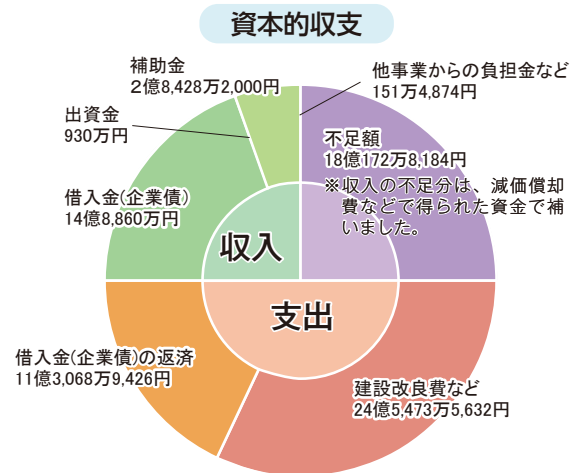
身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業会計の令和3年度の決算状況を見ていきます。

令和3年度決算を見てみよう！



収益的収入 71億9,075万2,392円
 収益的支出 71億2,536万 381円
 純利益 6,539万2,011円

※税抜き



資本的収入 17億8,369万6,874円
 資本的支出 35億8,542万5,058円
 収支差引 △18億 172万8,184円

※税抜き、△はマイナスを表す

業務量の概要 (令和4年3月31日時点)

給水人口 27万1,182人
 給水戸数 13万6,480戸
 年間総配水量 3,985万5,089㎡
 1日平均配水量 10万9,192㎡
 1日最大配水量 11万7,155㎡

●収益的収支(グラフ左)

その年度の水道水の供給に必要な費用と収益(主に水道料金)

●資本的収支(グラフ右)

水道を将来にわたって継続するために必要な施設の整備や拡充などに係る支出と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)



令和3年度決算が出たんだね。以前から経営が厳しいと聞いているけど、今回はどうだったの？



資本的収支の不足額が約18億円で、厳しい経営が続いているよ。この不足額は資金収支を伴わない補填額(減価償却費と長期前受金戻入の差額など)や純利益などを積み立てた貯金を取り崩して支払ったんだ。



貯金は減ったけど、まだ37.9億円もあるんだね。



この貯金は大規模災害等が発生した場合であってもライフラインである水道事業を継続していくために必要なお金なんだ。津市では50億円は必要だと考えているから、今の状況では安心できないんだ。



いざというときに必要になる大切な貯金なんだね。ところで、令和3年度ではどんな事業が進められたの？



主な事業の実績を次のページで解説するね。

貯金の動き

これまでの貯金(損益勘定留保資金) 44.2億円
 - 令和3年度の不足額 18億円
 + 令和3年度の貯金 11.7億円
 = 貯金残高 37.9億円

令和3年度に減った貯金 6.3億円

水道事業の運営費用は、皆さんからの水道料金で賄っています！

